

**富山市第二次総合計画  
市民ワークショップ実施報告書**

**平成27年11月  
富山市**



## 目次

1. 実施概要	1
2. 実施日程	1
3. 参加者の属性	1
4. 検討内容	1
5. 検討結果	2
(1) 「富山市のいいところ」「富山市の困ったところ」	2
(2) 「こんなまちになったらいいな」	12
(3) 「私たちができること」「行政に支援して欲しいこと」	17



## 1. 実施概要

### (1) ワークショップの目的

- ・公募によって参加いただいた市民が、富山市の現状や将来像について率直な議論を行い、市全体や地域、分野ごとの課題を発見し、解決するための施策や事業について提案を行うことで、第二次富山市総合計画の策定に際して市民の意見を反映させていくことを目的とする。

### (2) 実施の概要

- ・市内の「まちなかエリア」、「南東エリア(大沢野会場)」、「南西エリア(婦中会場)」の3つのエリアにおいて、それぞれ2回ずつ実施した。
- ・4名～7名を一つのグループとし、各会場において2つのグループ(計6グループ)をつくりそれぞれのグループで議論した。
- ・それぞれの会場やグループで特定のテーマは設けず、プログラムに応じて各回の検討内容をもとに自由に議論を行い、最後にその成果の発表を行った。

## 2. 実施日程

会 場		日 時		参加者
まちなかエリア	とやま市民交流館	1 日目	10月10日(土)10:00～12:00	8名
	富山市立図書館	2 日目	10月24日(土)10:00～12:00	10名
南東エリア (大沢野会場)	大久保ふれあいセンター	1 日目	10月 6日(火)19:00～21:00	13名
	〃	2 日目	10月27日(火) 19:00～21:00	12名
南西エリア (婦中会場)	婦中ふれあい館	1 日目	10月15日(木) 19:00～21:00	11名
	〃	2 日目	10月29日(木) 19:00～21:00	8名

## 3. 参加者の属性

まちなかエリア	学生5名(男女)、20代男性1名、40代男性3名、40代女性1名、70代男性1名
南東エリア(大沢野会場)	学生4名(男女)、20代男性1名、30代男性4名、50代男性2名、60代男性1名、60代女性1名
南西エリア(婦中会場)	学生4名(男女)、30代男性1名、40代男性2名、40代女性1名、60代男性3名、60代女性1名

※欠席者を含むため各回の参加者数とは合わない

## 4. 検討内容

### (1) ワークショップ1日目

- ①「富山市のいいところ」「富山市の困ったところ」
- ②「こんなまちになったらいいな」

### (2) ワークショップ2日目

「自分たちにできること」「行政に支援して欲しいこと」

## 5. 検討結果

### (1) 「富山市のいいところ」「富山市の困ったところ」

- ・第1日目の前半では「富山市のいいところ」「富山市の困ったところ」として、参加者が感じている富山市の現況を、課題や問題点、良いところ好きなどところに分けて自由に発言し、意見交換を行った。
- ・意見交換を行いながら、「人材・暮らし」「都市・環境」「活力・交流」「協働・連携」といった4つの大綱を意識しながら、類似の意見にまとめ分類を行って行った。
- ・「富山市のいいところ」では  
「自然の豊かさ」、「食事や水のおいしさ」、「働きやすさ」、「中心市街地でのイベントの充実」、「地域コミュニティ」の充実などに関する意見が目立った。
- ・「富山市の困ったところ」では  
「公共交通の便」「まちなかのにぎわい」「買い物環境」「地域間の差」などの意見が多く挙げられた。



各会場ワークショップ1日目前半の様様

①まちなかエリアAグループ

	キーワード	富山市の○	富山市の×
人材・くらし	過ごしやすい	人が少ない(過ごしやすい)	
	県民性・市民性	人が優しい アットホームな雰囲気 人が優しい・奥ゆかしい	サービス精神低め 各人の地域へのこだわり 運転が荒い 人が多いところのマナーが悪い
	教育	デジタル教材が進んでいる	
都市・環境	公共交通	意外に交通機関が便利 路面電車が便利 空港が近い	路面電車の無料乗換 地鉄が高い 小矢部のアウトレットまでの交通アクセスが良くない 郊外は車がないと移動が大変
	災害	災害が少ない	
	都市環境	公園に芝生が一杯 キラリの周辺がヨーロッパの町並みのようでおしゃれ 福井より大きい	
	自然環境	山、海が近く風景がキレイ 水がおいしい	
	市街地整備	多くの文化施設がある こじんまりまとまっている	用水路の蓋がない 富山駅の南北が移動しにくい 地下道が長い 中心市街地しか栄えていない
活力・交流	にぎわい・観光・交流	交流の機会がたくさんある 意外とイベントがある	若者が少ない 暗いイメージ ちゃんと眠るまち(夜は静か) 日曜の駅前の静けさ 通年観光がない
	買い物環境		スーパーが遠い スーパーの品揃えが少ない 洋服を買うところが少ない 大きなショッピングセンターが近くにない
協働	地域活動	伝統ある祭りが多い	

②まちなかエリアBグループ

	キーワード	富山市の○	富山市の×
人材・くらし	学校教育	教育レベルが高い 苦手な教科のサポート	大学が少ない 街中の学習スペースが少ない
	少子化対策		少子化の進行 学童保育が充実してない
	自然	水がおいしい 自然が豊か	
	住みやすさ	犯罪が少ない 災害が少ない	
都市・環境	公共交通	市内電車が走る町並みがよい	市電で途中下車しにくい 途中下車するきっかけがない バスの運賃が高い
	車社会		車がないと移動しにくい 雪の影響で交通が不便
活力・交流	中心市街地		市街地に娯楽が少ない 商店街に活気がない
	企業立地	魅力ある企業が多い	
	文化芸術	芸術・文化に触れる機会が多い	
	交流・情報発信		情報発信力が弱い 観光テーマ・コンセプト毎の案内がない 国際インフォメーションセンターがない
	イベント・にぎわい・交流	グランドプラザで様々なイベントが行われている	イベントの情報が伝わりにくい イベントの場所や日時が集中
	農業		担い手不足
協働	地域コミュニティ	地域のつながり 小さなコミュニティに参加する人が多い	大きなコミュニティには参加しない



③南東エリア(大沢野会場) Aグループ

	キーワード	富山市の○	富山市の×
人材・暮らし	食事	食事がうまい 水がおいしい	
	住環境	意外と住みやすい 土地が購入しやすく家を建てやすい	除雪をあまりしなくなった
	働きやすさ	高齢者も多く働いている 保育園を広域で選べるようになっている 共働きが多く世帯所得が高い 共働きでも子供の面倒が見てもらえる(祖父母) 女性がよく働いている	
	教育	勤勉で進学率が高い	
	高齢者	デイサービスなどの介護団体が近くにある	
都市・環境	自然環境	大きな公園が多い 自然が豊か 都市化していない 自然をテーマとした観光ポイントがある 緑の多い景観	
	公共交通	空港が街中にありアクセスが便利 お出かけ定期券で中心市街地に出かけやすい	公共交通が高い 通学が不便(特に高校生) 地鉄の運賃が高い 終電が早い 路面電車が近くにない 車がないとなにもできない 交通弱者にとって不便
	自動車交通	駐車場が無料な施設が多く車で移動しやすい 自動車を持っている 駐車場が多い	中心市街地の駐車場が有料なので無料で
	道路整備	富山市内の移動は便利	交通量が多い道に歩道がない 見通しの悪い交差点に信号がない

	キーワード	富山市の○	富山市の×
都市・環境	コンパクトシティ		都市がコンパクトでない コンパクト化しすぎ 広すぎて一体感が薄い 中心部と旧町村地域とではサービスに差が出る 除雪があまりしてくれなくなった
	防災	災害が少ない	防災意識が低い
活力・交流	農業振興		農地が荒れてきている 猿やイノシシなどへの対策
	イベント	市民マラソン等イベントが催されている グランドプラザでのイベントが多い	イベントがわかりにくい(告知)
	にぎわい		リタイヤされた方の楽しめるスポットが少ない 若者が遊べる施設が少ない 駅北・西町などの町歩きしたくなる場所が多くはない 人が集まらない
	商業環境		遊びに行くところがショッピングモールで1極化 大型店の進出により小売店が減少(買い物難民が増える)
	観光・交流		駅前の観光施設が少ない 観光の新幹線の旅行客に対するポイントが少ない アピールが苦手 外国語の案内が少ない
	雇用	工場が多く雇用が安定している	
協働・連携	行政サービス	証明がとりやすい	行政依存が強い
	地域コミュニティ	地域によってコミュニケーションが強いところがある 地域の祭りが多く残っている	

④南東エリア(大沢野会場) Bグループ

	キーワード	富山市の○	富山市の×
人材・くらし	食事	食事がうまい	
	教育	高校の選択肢が多い(職業科も)	学校施設の老朽化
	高齢者	元気な高齢者	高齢者の活躍の場が少ない 高齢者の買い物難民
	子育て	保育所の待ちがほぼない	
	福祉	ホームレスが少ない	
	人材流出		スポーツ有望選手の県外流出
都市・環境	自然環境	0m～3000m までの自然環境 空気がおいしい	
	市街地整備	駅前がキレイ 環水公園がきれい 公園が整備されている	
	災害	大きな災害が少ない	
	コンパクトシティ		市民サービスの地域間格差 山間部の除雪
	公共交通		市街へのアクセスが不便 ライトレールの終電が早い SUICA を使えない 公共交通の料金が高い 新幹線で北口に出られない
	道路交通		交通事故の増加 運転が荒い
	空き家		空き家対策
活力・交流	食の魅力	海の幸・山の幸 おいしい居酒屋が多い お酒がおいしい	
	観光・交流		市内に少ない観光スポット 観光客のリピーター不足
	にぎわい	北陸の中ではイベントが多い	夜中に遊ぶ場所がない 商店街の閉店が早い
	情報発信	富山が舞台のドラマや映画がある 発信力がある	ガラスのイメージが薄い
	農業振興		農業後継者不足

	キーワード	富山市の○	富山市の×
協働・連携	市政	市長のリーダーシップ	
	地域コミュニティ	地域清掃に協力的 近所づきあいが良くコミュニケーションがよい	町内会単位の活動が弱い 町内会の活動をマネジメントする人材の不足 町内会出席者が不足 世代間交流が少ない

⑤南西エリア(婦中会場) Aグループ

	キーワード	富山市の○	富山市の×
人材・くらし	教育	教育熱心 教育レベルが高い	教育に予算が不十分(施設)
	子育て		学童保育が無い地域がある 学童支援員のなり手が無い
	スポーツ		子供の体力低下 スポーツ人口の減少
	市民性	人情 忍耐力 女性がよく働く	最初はとっつきにくい
	医療		病院が少ない(遠い)
	暮らしやすさ	犯罪が少ない 防災・治水対策がすすんでいる	降雪時の対応
都市・環境	公共交通		公共交通の便が悪い 村営バスと民間バスの連携が悪い 山田地区は日中にバスがない 歩いて市街地を回るアクセス
	コンパクトシティ	お団子と串の構造や発想	ほんとにコンパクトなのか?
	都市景観	電線地中化で空が広い	
	基盤整備	カドミ田の復元工事	
活力・交流	自然・たべもの	水がおいしい 緑が多い 米や魚がおいしい	←アピールできていない
	まちなかのにぎわい	売っているものの質はよい	総曲輪が高い まちなかに若者が集まってない 総曲輪なのか駅なのかはっきりしない 商店街の空き店舗が多い
	買い物環境		買い物に遠くに行く必要がある
	まちなかの回遊性		観光スポット間の景観や整備がよくない 外国人に向けた案内が少ない
	芸術・文化	芸術にもう少し力を入れる	
	農業・産業振興		米農家が苦しい(適正な買い取)
協働	地域コミュニティ	協力性ある	

⑥南西エリア(婦中会場)Bグループ

	キーワード	富山市の○	富山市の×
人材・くらし	市民サービス	ゴミ収集 救急車がすぐ来る	ゴミ収集方法の周知(外国人)
	防災	市民の防火意識高い	災害時の対応が不明
	人口		若者が定着しない
	学校教育		小規模校の将来 学校給食の変化
都市・環境	インフラ整備	上下水道の整備 地区センターの整備	除雪の整備 道路や歩道の整備や緑化
	市街地整備		何を残そうとしているか不明 新しいものをつくる一方で、今あるものには意識が低い
	公共交通	市電があり本数が多い バスの路線が多い 空港と新幹線がある 市内の交通は便利	交通の便に偏り 新幹線のりばから北口に行けない 富山駅前の整備未了 環状線が一方通行 駅前が複雑で信号待ちが長い 中山間地の交通が不便 市電の終電は11時で早い
	自然	自然が豊かで身近 立山がある景色	
活力・交流	食べ物	食べ物がおいしい 地域産物が豊富である	
	雇用	高卒で働ける工場が多い	
	イベント	グランドプラザでのイベントに人が多く集まる アメイジングラン等新イベント 行事やイベントが多様	
	にぎわい・中心市街地	キラリができて「ガラスのまち富山」 美術館が多い 駅前に居酒屋が多い 中心部がにぎやかになってきた 学生がまちなかに出る機会無い	商店街が活性化しない グランドプラザに来て商店街の店に入ってくれない 居酒屋が駅前しかない 賑わい創出の場が中心に偏る

	キーワード	富山市の○	富山市の×
活力・交流	観光・交流・PR	文化がある 映画やドラマの撮影地 電車ファンの人が集まる	既存の文化に観光が依存 観光客への対応が未熟
	中山間地		中山間地の高齢化 近所のスーパーが無くなった 山の方に何があるのか分からない。知る機会もない。
協働・連携	地域コミュニティ	まちづくりに対して積極的	無関心な人の増加 地域で暮らす意義の低下 世代間・地域間の交流が希薄 集落の活動がしにくい

## (2) 「こんなまちになったらいいな」

- ・ 1日目の後半では、前半で出た意見を整理しつつ、良いところを活かし、良くないところは改善しながら、どのような富山市になっていったらいいか「〇〇なまち」というかたちで、(期間を定めず)富山市の将来像や理想的なまちを自由に検討し議論した。

### ①まちなかエリア

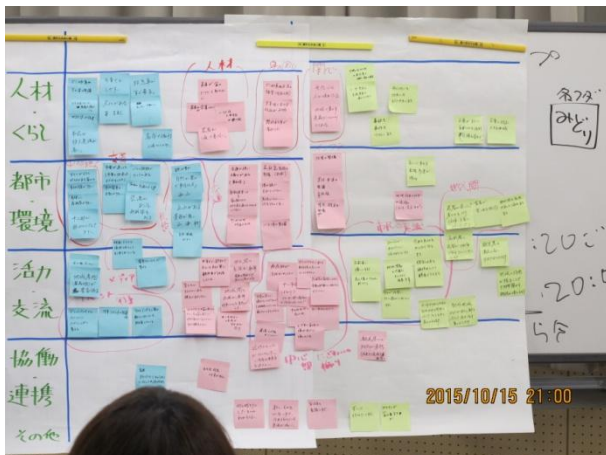
- ・ まちなかエリアでは、公共交通やにぎわいづくりに関する意見や、子育て環境に関する将来像が挙げられている。

### ②南東エリア(大沢野会場)

- ・ 南東エリア(大沢野会場)でも、公共交通やにぎわいづくり、交流人口の増加を将来像としてあげる意見が多かった。
- ・ そのほか、高齢者の生活のあり方や地域コミュニティに関する意見も目立った。

### ③南西エリア(婦中会場)

- ・ 南西エリア(婦中会場)でも、にぎわいづくりに関する意見が多かった。
- ・ にぎわいは遊ぶ場所と働く場所もあわせて、住みやすさ、暮らしやすさにつながり子供達が戻ってくるようなまちづくりにつながるという意見もあった。
- ・ そのほか、中山間地の地域間の交流や地域コミュニティに関する意見が多く挙げられた。



各会場ワークショップ1日目後半の様様



①まちなかエリアAグループ

キーワード	こんなまちになったらいいな
公共交通 (もっと便利に移動しやすく)	皆が使いやすい公共交通 郊外と中心部が行き来しやすいまち 車が無くてもしっかりとどこへいけるまち
にぎわい・交流 (レッツゴー！)	年中人を招けるまち 他の人、よその人を連れて行けるまち 全国各地から人が集まるまち
交流 (遊びたい・関わりたい・たまりたい)	遊べるまち たまり場があるまち 関わりを感じられるまち 世代を超えた交流があるまち
富山の「優しい」県民性	「優しい」まち 優しさを全国区に知ってもらおう

②まちなかエリアBグループ

キーワード	こんなまちになったらいいな
子育て・教育環境	子供が元気なまち 子育てしやすいまち 子供の成長を助けることに力を入れるまち みんなが笑顔になるまち たくさんの子供が外で遊ぶまち
公共交通	車を使わなくても市内を回れるまち 車と電車がつながっているまち
雇用	働きやすいまち
にぎわい・交流	人が集まるまち 「老後は富山で」と言われるまち 海外の方がリピーターになる町 若者が楽しいまち
地域コミュニティ	人と人をつなぐまち 世代間交流の盛んなまち

③南東エリア(大沢野会場) Aグループ

キーワード	こんなまちになったらいいな
高齢者	いくつになっても働けるまち 高齢者も活躍するまち 高齢者が行動しやすいまち
自然環境・中山間地	里山を活かしたまち
公共交通	自動車だけに頼らないまち 路面電車が全域に広がるまち 公共交通が便利なまち 交通弱者でも住みやすいまち コンパクトなまち
防災	防災意識の高いまち
観光・交流	市民も来客も楽しめるまち 富山らしい観光スポットのあるまち
にぎわい	イベントに参加しやすいまち 若者が中心部に集まるまち
地域コミュニティ	自助・共助の盛んなまち コミュニケーションのいいまち まちづくりに参加しやすいまち

④南東エリア(大沢野会場) Bグループ

キーワード	こんなまちになったらいいな
高齢者	自宅で家族に囲まれて息を引き取れるまち 高齢者でも気軽に情報収集できるまち
空き家	空き家ゼロのまち
雪対策	雪がふってよろこべるまち
公共交通	気軽に簡単に駅前に行けるまち 交通ネットワークのいいまち 自家用車無しで生活できるまち 全国共通交通カードが公共交通や自転車でも利用
にぎわい・交流	海外に魅力ある町 初めて来る人が「また来たい」と思うまち 初めて来る人が困らないまち 遠足・修学旅行で訪れるまち 日本の真ん中として外国人がまず来る「ハブ」なまち 石川に行く前に富山で一杯飲んでくれるような町
情報発信	他県の友人に「じまん」できるまち 無視することができないまち

⑤南西エリア(婦中会場) Aグループ

キーワード	こんなまちになったらいいな
子育て	子供が裸足で走れるまち 子供がスポーツに親しめるまち
自然環境	緑・水・立山を活かしたまち
住みやすさ・暮らしやすさ	家が持てるまち 快適に住めるまち まちのサービスを皆が理解し利用するまち 子供達が戻ってくるまち
働く場所	企業の進出するまち
都市景観	今あるものを活かしたまち
まちなかのにぎわい	若者が集まるまち 中心市街地に賑わいのあるまち(3on3 がある、ストリートスポーツができる)
芸術・文化	アートが身近なまち ガラスを前面に出したまちづくり
地域コミュニティ	隣同士が挨拶できるまち

⑥南西エリア(婦中会場)Bグループ

キーワード	こんなまちになったらいいな
地域医療・高齢者	医療がすぐに受けられるまち(介護を含む) 高齢者に優しいまち
防災	災害に対応できるまち 事件も事故も少ないまち
人口・定住	若者が安心して暮らせるまち(仕事、子育て、スキルアップ) ずっとすみたいまち
教育	交流学习が盛んなまち
市街地・道路整備	安心して歩けるまち
交通	中心都市にも地方にも行きやすいまち
にぎわい・中心市街地	郊外の人が中心部を介して生き生き暮らせるまち 中心市街地の住民が郊外や中山間地を介して生き生きと暮らせるまち 学生が活発に外に遊びに行くまち
観光・交流・PR	地域の特色を活かして大都市圏からひとがくるまち 観光客の満足の高いおもてなしのまち
中山間地	農業の労働力の確保
地域コミュニティ	高齢者と若者が協働するユニバーサルなまち 世代間の交流があるまち 地域活動が活発なまち みんながまちづくりに協力的なまち みんなが富山のことがすき 今ある文化をみんなでまもるまち 個性を維持しつつ共有できるまち

### (3) 「私たちができること」「行政に支援して欲しいこと」

- ・ 2日目のワークショップでは、1日目の後半で「こんなまちになったらいいな」として挙げた将来像の実現にむけて、何をどうすればいいかを議論した。
- ・ そのなかで、市民と行政がそれぞれの役割を認識しつつ将来像を実現していくために、検討する将来像を整理しながら、「私たちができること」「行政に支援して欲しいこと」の2つの視点から、具体的な取り組みを挙げていった。

#### ①まちなかエリア

- ・ まちなかエリアでは公共交通の活性化、にぎわいづくり、優しいまち、子供が元気なまちの実現にむけた取り組みなどを検討した。
- ・ 市電の利便性の向上ための支援策や、まちなかでの生活の利便性向上やにぎわいづくりなど中心市街地に関わる取り組みのアイデアが多く出た。
- ・ 県外出身者や若者が多いグループ(Aグループ)では富山に住んで感じた「優しさ」を、広げ伝えるための具体的なアイデアが出た。

#### ②南東エリア(大沢野会場)

- ・ 南東エリア(大沢野会場)では、公共交通の活性化、少子高齢化にむけた高齢者の参加のあり方、個性を活かしたまちづくりの場やきっかけづくりについての意見があった。
- ・ 公共交通に関する議論では、まちなかエリアと異なりバスの活用に関する意見が目立った。
- ・ また、少子高齢化対策に対して、地域の高齢者と子供達が交流するためのアイデアが多く出た。

#### ③南西エリア(婦中会場)

- ・ 南西エリア(婦中会場)では、地域づくりやそのための人材育成の方法、地域の特性を踏まえた子育てのしやすいまちづくりのありかたなどの議論が行われた。
- ・ 特に中山間地の参加者からは、学童保育や高齢者のサービスなど具体的な生活の課題を踏まえたアイデアが出された。



各会場ワークショップ2日目の模様

①まちなかエリアAグループ

こんなまちにしたい	私たちができること	行政に支援して欲しいこと
<p>車を使わず公共交通をもっと使うには</p>	<p>何しろ使ってみる</p> <p>歩く。自転車を使う</p> <p>なるべく電車を使う</p> <p>車に乗ることを控える</p> <p>ツアーを企画</p>	<p>エコマイカの使える場所やチャージ場所を増やす</p> <p>料金が使いやすくなるように</p> <p>路面電車の値段を安く</p> <p>市電とバスの接続割引制度</p> <p>市電の無料割引区間が限定的</p> <p>自転車専用レーン</p> <p>レンタル自転車に電動自転車の導入</p> <p>電車バス車自転車徒歩の連携</p> <p>郊外に駐車場をふやす</p> <p>レンタサイクルの月額使用料を使いやすい</p>
<p>まちなかににぎわいを興すには</p>	<p>まちを知る(→案内できないのは知らないから?)</p> <p>学生が街を案内する(学生視点)</p> <p>街中で遊ぶ</p> <p>グランドプラザから人を流す</p> <p>気軽に参加できる無料のイベントを企画・運営</p> <p>もっとまちなかに飲みに行く</p> <p>情報発信と受信</p> <p>現在ある情報獲得ツールを使ってみる</p>	<p>こどもがまちなかに通う仕組み(保育施設)</p> <p>お金を使わなくてもとどまることができる場所</p> <p>小さなコミュニティから大きなコミュニティへ</p> <p>空き家をまちなかに必要な施設に転用(図書館、美術館…)</p> <p>大学を社会人に開放</p> <p>定期的にグランドプラザなどに有名人を呼ぶ</p> <p>情報発信</p> <p>コミュニケーションがとれる場所ができたらい</p>
<p>やさしさを見つけて発信(やさしさにつつまれたなら)</p>	<p>Facebook や twitter で優しさ体験エピソードを発信</p> <p>外から来た人をもてなす意識で</p> <p>それとなく話題に出す</p> <p>人に助けてもらわざるをえない状況に</p>	<p>無料傘のレンタル</p> <p>「学生の視点」「よそものの視点」で富山観察会を開く</p> <p>「とやましくさ」の様な形でまとめる</p> <p>富山の人々が富山の価値を再認識する</p> <p>ゴミ捨て場を様々なところにおいて、市民がポイ捨てしないように</p>

②まちなかエリアBグループ

こんなまちにしたい	私たちができること	行政に支援して欲しいこと
<p>子供が元気なまち</p>	<p>親が自主的に子供の行事を行う</p> <p>県内外の子供との交流</p> <p>地域の特色を活かした子供達のイベント実施(例)山と海の学校のイベント交換</p> <p>学生が学校で子供を見るボランティア(若者と子供の交流)</p>	<p>遠征への支援</p> <p>子供のための学校施設開放</p> <p>子育て支援のニーズと担い手をつなぐ仕掛け</p> <p>地域包括支援センターの子育て支援版</p> <p>多様な子育て支援(ベビーシッター、企業内保育園)</p>
<p>人が集まるまち</p>	<p>外部への発信を意識した施設名称</p> <p>まちなかでの生活実践</p> <p>博物館や美術館の利用</p> <p>まちなかでの市民市場、軽トラ市場の実施</p> <p>自転車の利用</p>	<p>郷土意識と国際意識のバランスをもった施策</p> <p>まちなかの空き店舗を活用した学習スペース整備</p> <p>まちなかにおける日用品の買い物場所の整備</p> <p>市電のパークアンドライドのしくみ(安野屋など)</p> <p>駐車券での市電割引</p> <p>市電の1日フリー切符</p>

③南東エリア(大沢野会場) Aグループ

こんなまちにしたい	私たちができること	市に支援して欲しいこと
公共交通の活性化	<p>お出かけ定期券の利便性をPR</p> <p>公共交通を積極的に利用(通勤・通学)</p> <p>周回バスの整備</p> <p>利用者ニーズに沿った公共交通サービスの提供</p> <p>バス停や駅などでのサービスやPR強化</p> <p>バス・鉄道の値下・増便</p> <p>オンデマンドバスの運営協力</p> <p>バス停や駅などでのサービスのPR強化</p> <p>パーク&amp;ライドの活用</p> <p>企業間の連携で交通を整備できないか</p>	<p>高齢者優遇からユニバーサルサービスへ</p> <p>たとえば…お出かけ定期の2倍の料金で一般の人も同じサービス</p> <p>お出かけ定期券の条件緩和→60歳以上、時間延長</p> <p>パークアンドライド駐車場増</p> <p>雪の多い地域のアクセス確保</p> <p>各地域を巡回するバスを何本か出す</p> <p>オンデマンドバスの導入補助</p> <p>「ハブ」となるバス停の設置補助</p> <p>運賃の値下げ</p> <p>公共交通機関利用者へのサービスを増やす</p>
少子高齢化対策	<p>企業が高齢者を雇用する活躍の場を与える</p> <p>室内型の子供の遊び場</p> <p>保育スペースをもった事業所を増やす</p> <p>小学生・中学生の放課後児童クラブの支援</p> <p>学生の介護支援やベビーシッター</p> <p>地域住民との助け合い(高齢者)</p> <p>公民館などでの高齢者・子供向けのイベント(公民館など)</p> <p>地域交流会の実施や既存行事の活性化(学校行事を含めて)</p>	<p>各地のシルバーが食で競い合うS級?グルメグランプリ</p> <p>子供と高齢者が棲み分けされていない施設</p> <p>学童保育施設の増加と年齢の拡大</p> <p>学校の空き教室の開放</p> <p>地域のハンディを埋める支援</p> <p>老人・保育複合施設の整備</p> <p>保育スペースを働く場に設けた場合の補助</p> <p>高齢者の働く場所の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物工場</li> <li>・オンデマンドバス運転手</li> </ul> <p>市民一人一人だけが楽しむイベント以外の、子供からおとし寄りまでが参加できるイベントづくり</p> <p>継続できるふれあいイベントや場づくり</p> <p>高齢者と子供のふれあうイベント創出</p> <p>スタンプラリーやまちめぐりなどイベントによる活性化</p>



④南東エリア(大沢野会場) Bグループ

こんなまちにしたい	私たちができること	市に支援して欲しいこと
<p>自宅で家族に囲まれて息を引き取れるまち</p>	<p>高齢者と家族の同居 若い人のIターン、Uターン 地域コミュニティの形成 地域の高齢者サロンづくり</p>	<p>中山間地域における就労の場づくり 地域包括ケアの充実</p>
<p>公共交通の活性化</p>	<p>バス路線の整備 各エリアの交通網整備</p>	<p>団子からクモの巣へ(旧町村同士の横のつながりのネットワーク) 全国共通交通ICカードを利用できるようにする</p>
<p>地域の個性を活かしたまちづくり ・友人に「じまん」できるまち</p>	<p>地域の個性の発掘 地域に愛着を持つ 地域行事への積極的な参加 有形無形の地域の個性の創造</p>	<p>まちづくりや地域の個性を発掘するきっかけや場所づくり 市民からの意見聴取やワークショップの開催 子供に対する地域の教育 エリア毎の役割分担を踏まえた都市計画 公開まちづくりコンペの実施 賞金などの動機付け 小学生・学生コンペ</p>
<p>観光と交流</p>	<p>飲食店や観光地での英語習得</p>	<p>観光資源のコンパクトシティ化 山岳観光のベース基地、修験道・山登りとしての場づくり(大山)</p>

⑤南西エリア(婦中会場) Aグループ

こんなまちにしたい	私たちができること	市に支援して欲しいこと
住みやすいまち	地域力を高める 地域同士の連携 公共交通の積極的利用 地位の境をなくす(地域の状況を踏まえた対応)	安価な賃貸住宅の提供 コンパクトシティではあるが車の利用が多く道路の整備 地位の境をなくす(地域の状況を踏まえた対応)
子育てしやすいまち	多世代同居や近居の実践 地域で子供を育てるとりくみ	中山間地の学童保育の事業者や担い手確保(雇用、賃金など) 高齢者と子育て支援の連携した取り組み 児童や高齢者の移送サービス(中山間地の施設不足対策) 児童館の利用者ニーズに応じた運営(開館時間など) 空き家を利用した学童保育(担い手を限定しない)児童館を利用した子育て支援
子供たちが戻ってくるまち	親の世代から子供の世代への教育 住み良さのアピール モデル的なライフスタイルの提案 2時間で東京に出ることができる利便性のPR	Uターン、Iターン者のスキルを活せる雇用の場の確保 本社機能の県内誘致 働きたくなる企業誘致
地域づくり	地域のリーダーづくり 市議会議員に地域のために働いてもらう 地産地消の実践	地域のリーダーへの給与支払(役割、責任とその対価) 地域を育てる指導者の育成 市長の特命リーダー 外部(他の地域)からの地域リーダーの募集 地産地消のアピール(プチマルシェ、大手市場など)

⑥南西エリア(婦中会場) Bグループ

こんなまちにしたい	私たちができること	市に支援して欲しいこと
安全安心なまちづくり	災害に強いまちづくりが少しでも考えて実行できるようにする 高齢者 避難場所や避難経路の確認 避難訓練への参加 高齢者・障害者などの弱者が安全に暮らせるようなボランティア	ハザードマップの作成や配布 定期的に講習会や避難訓練を開講
地域づくり	若者世帯を入れる対応 地域間交流の活性化 地域活動の活性化 地域や世代を超えた相互理解 文化や歴史のわかり合い 文化や伝統を大切にすゝる気持ち 富山産農産物の積極的消費 「富山らしさ」をまもるとりくみ	地域活動のバックアップ 地域間交流の企画や機会作り 地域を支える企業への支援による就業機会の向上 地域交流事業の活性化 若者の定住支援 農業・漁業・林業などの後継者育成と事業補助 歴史文化に対する支援 ふるさと納税の拡充